第14回生活行為向上マネジメント事例検討会開催

日時	2022年02月20日(日) 09時00分~12時00分
会場	ZOOMによるオンライン
研修会概要	生活行為向上マネジメント(以下MTDLP)研修は、基礎研修(概論と演習)と実践者研修(事例検討会での演題発表もしくは日本作業療法士協会での事例報告登録システムでの事例登録)に分かれており、両方修了することでMTDLP実践者となります。生活行為向上リハビリテーション加算の取得に対しては、MTDLP実践者研修を修了することでも算定できるようになっております。また、MTDLP事例検討会に聴講生として参加することで、現職者共通研修の事例検討に読み替えが可能となっております。 MTDLPを実践できることは、利用者様に対して適切なアプローチを提供するだけでなく、多職種連携を視野に入れたアプローチができるようになり、社会のニーズでもある地域包括ケアシステムに寄与できる作業療法士になることに繋がります。皆さまのご参加お待ちしています。
内容	事例検討会の内容について 事例発表(10分) 質疑応答(3分) グループ討議(20分) 討議の発表(7分) まとめ(5分) 事例発表と質疑応答を含めて1事例につき45分間の時間が割り当てられます。発表者 の事例発表を聴講後、グループ討議(5~6人)で内容をより充実させるためのア イデアを出し合い、発表者も含めた参加者の生活行為向上マネジメントの実践力の 向上を図ります。
講師	三瓶 政行 ベルツ在宅リハビリテーションセンター草加
講師	根岸 昌 埼玉県総合リハビリテーションセンター
講師	高橋 啓吾 0リハビリテーション天草病院
参加費	県士会員:無料 キャンセルの場合は事前にご連絡ください

対 象	作業療法士 日本作業療法士協会員かつ埼玉県作業療法士会員 事例報告者はMTDLP基礎研修を終了している必要があります。
申 込	申込フォームに必要事項を入力 Proposition (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
申込期日	2021年12月01日(水) ~ 2022年02月13日(日)
諸注意	発表前および発表時に用意するもの 2022年2月7日迄 ① 生活行為課題分析シート(1枚)② マネジメントシート(1枚)③ 一般情報シート(1枚)④ 社会資源シート(1枚)⑤ レジュメ(A 4で1枚に、症例紹介・現病歴・家族構成・作業療法評価・プログラム・経過、結果を簡単にまとめたもの) ※①は「生活行為向上マネジメントの事例報告書作成の手引き」の23ページ②は20ページを、③④は17・18ページを参照して下さい。 ※上記シートは、2月7日までに下記の問い合わせのメールアドレスに送付して下さい。 件名:MTDLP発表希望 記入欄:①氏名 ②会員番号 ③所属病院・施設発表は、レジュメで作成して頂いた内容をパワーポイントに変換して発表して下さい。
定員(名)	30名(発表者9名、聴講者21名まで) 生涯教育ポイント 2ポイント
その他	
お問い合わせ	(リハビリテーション天草病院:高橋啓吾) saitama_mtdlp@yahoo.co.jp